

## 2021 年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2022年 2月 25日
研究・研修課題名	血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師の取得
研究・研修組織名(所属)	血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師の取得 (放射線部)
研究・研修責任者名(所属)	宮原 善徳 (放射線部)
研究・研修実施者名(所属)	福田 美月 (放射線部)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input checked="" type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input checked="" type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果 ( )
該当者名(所属)	福田 美月 (放射線部)
学会名(会期・場所)、認定名等	血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師
演題名・認証交付元等	血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構
取得日・認定期間等	2022. 2. 5～2026. 9. 30
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

**目的及び方法、成果の内容****①目的**

日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構は、血管撮影およびインターベンションに携わる診療放射線技師の専門性を認定することにより、血管撮影およびインターベンション領域での技術の向上とチーム医療の確立を図り、放射線の安全管理と放射線防護の最適化に努めることを目的としている。この機構が認定しているのが、血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師である。この認定資格の取得を目指し、認定講習会の受講、また認定試験の受験をする。

**②方法**

第 14 回日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定試験を受験し、合格することで認定を取得する。認定試験受験者は、試験前に開催される第 14 回血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定講習会 (Zoom ウェビナー) の出席が必須である。

また、受験申請の条件として、1) 診療放射線技師免許を有すること 2) 通算 3 年以上の血管撮影に関する診療業務の経験を有すること 3) 過去 3 年間にインターベンション 50 症例以上の経験を有すること 4) 学術成果として機構が認定する所定の単位 (30 単位以上) を修めていること 5) 安全管理および品質管理に関する測定データを提出することが定められている。

**③成果**

受験申請に伴い、過去 3 年間に於いて通算 50 例以上の IVR の診療業務に従事し、所定の単位を修め、自施設の血管撮影室における透視・撮影線量、散乱線線量の測定データなどの提出を行った。2021 年 6 月 19 日に開催された認定試験前の認定講習会 (Zoom ウェビナー) を受講した。また、12 月 19 日に開催された第 14 回日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定試験を受験し、合格した。以上をもって、2022 年 2 月 5 日に血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師の認定を取得した。